効果継続に向けたハンプの更新



まちづくり活動の中で住民主導で推進





広域図



登録状況

生活道路対策エリア(区域)

対策の内容

備考

ハンプ設置、狭さく設置 他

- ▶ ETC2.0 プローブ情報の分析により「重 点対策区間」を設定
- ▶ 重点対策区間を走行する車両の半数 以上が抜け道利用であり、30km/h 以 上の車両が多い
- ▶ 植田東学区連絡協議会にて 2012 年 度から継続的に検討

設置の 特徴

効果継続に向けたハンプの更新

ハンプの概要

設置箇所



背景の地図の出典:国土地理院

設置内容

	内 容	備考	
設置箇所数	1 箇所(単路部)	בי מוע	
設置時期	2016年7月(更新)	2006年3月(当初設置)	
ハンプの形状	• 平坦部の長さ 2m	技術基準を参考	
	• ハンプの高さ 10cm • 傾斜部の勾配 平均 5%		
構造及び	• アスファルト舗装	・当初はゴム製であったが、経年劣	
付属施設	• 路面表示「路面段差あり」	化によりアスファルト舗装で再設置	
	- 警戒標識「段差あり」、自発光鋲	・既存路面切削なし	
技術的な工夫	 ◆ 当初は可搬型ゴム板で設置されていたが、利用者が速度抑制効果を実感している中で、ゴム版の劣化が進んだため、アスファルト舗装で再設置 ◆ 路肩の街渠を含む道路全幅をハンプ化しているため、ハンプ前後には街渠桝を設置して、道路排水に配慮 ◆ 歩車道境界は左右ともガードパイプを設置し、歩行者防護とともに狭さく感を演出 		

設置状況



概観



通行状況



路面表示(路面段差あり)



警戒標識(段差あり)



ハンプ前後に街渠桝を設置 (道路排水に配慮)



概観 当初設置(ゴム製)

狭さくの概要

設置箇所



背景の地図の出典:国土地理院

設置内容

	内 容		備考
設置箇所数	2 箇所		・片側狭さく1箇所・クランク型狭さく1箇所
設置時期	2017年2月 (クランク型狭さく・片側狭さく)		2017年11月 狭さく1箇所設置 2018年12月 狭さく1箇所撤去
狭さくの形状	片側 狭さく	狭小部の幅員 3.0m最も狭めた箇所の長さ 1.7mすり付けの角度 45°	技術基準を参考 現出し量 プラー編集・セプラ
	クランク型 狭さく	狭小部の幅員 3.0m最も狭めた箇所の長さ 1.7mすり付けの角度 45°	すり付けの 外側線 最も狭めた箇所 最も狭めた箇所 の車道 の車道幅員
構造及び 付属施設	・区画線・ゴム製ポール・カラー舗装、注意看板		
技術的な工夫	 ◆狭さくは連続設置で速度抑制効果の向上を図った ◆通行の優先をわかりやすくするため、片側狭さくを基本とした ◆張り出し部の路面をカラー化及びゼブラ処理して狭さくの存在をわかりやすく示した ◆ゴム製ポールの位置(間隔)は、自転車が張り出し部を通り抜けられるよう設定した ◆側溝を除いて、アスファルトの通行部分が 3m確保できるように張り出しの幅を調整した。ただし、連続配置の箇所は、蛇行しすぎないように調整した 		

設置状況

片側狭さく



概観



ゴム製ポールの配置



注意看板

クランク型狭さく



概観



通行状況



ゴム製ポールの配置 (自転車が通行できる幅)

合意形成 のポイント

まちづくり活動の中で 住民主導で推進

対策実施状況と合意形成の概要

对策実施状況 (道路管理者の動き)

合意形成の概要

2009.4 植田東学区連絡協議会の設立

「あんしん歩行エリア」として検討(2002年度 ~2007年度)

ハンプ設置(2006.3)

2013 年度 交通問題検討会(第1回) 【学区の交通課題を把握する会】 学区交通部会員、学区連絡協議会委員、 学識者で構成、行政はアドバイザー

2012 年度 住民アンケート・課題マップの作成

その他:現地点検、交通問題学習会(交通問題検 討会の前身)



💯 「学習会」により、一般の方にわかりやすく課題を 認識してもらうことができた



検討会に専門家や行政アドバイザーが参画す ることで、理解が得られやすくなった

2014 年度 交通問題検討会(第 2~6 回)

交通実態調査、住民アンケート

社会実験(2015.9~2015.12)

※近隣の住民へ個別に説明し、設置位置を調整



生活道路対策エリア登録(2016.3)



2015年度 交通部会*(第1~4回) ※学区連絡協議会の部会

交通まちづくり計画案に対する意見募集、交通まちづくり計 画要望書提出(市長、警察署長)、住民アンケート

事前調査、事中調査、事後調査の実施

設置

・単路ハンプ1箇所(2016.7~) 更新

・クランク型狭さく1箇所(2017.2~) 片側狭さく1 箇所 $(2017.2\sim)$

・片側狭さく1箇所

設置(2017.11)⇒撤去(2018.11)

効果検証

2016 年度 交通部会(第1~4回)



↑ 介政からの提供情報も踏まえ、地域主導で検 討、対策案を決定

2017年度 交通部会(第1~4回)

住民アンケート、事後調査結果

2018年度 交通部会(第1~4回)

事後調査、課題検討

PDCA の中での合意形成の内容とポイント

段階	説明手法・内容	道路管理者の考える 0 への 合意形成のポイント
現況調査 計画策定 〈Plan〉		●地域主導で住民の意見聴取 を実施し、広報資料により積
	★ 広報資料配布【アンケート結果紹介】実施日 2013年2月	極的に情報提供を図ることで理解が得られやすくなった
	対象者 町内会加入全世帯 配布資料 学区広報紙 ❖ 課題マップ整理	
	実 施 日 2013 年 2 月 参 加 者 学区連絡協議会役員	●意見をマップに整理することで、課題を明確にできた
	★ 広報資料配布【課題マップ紹介】実施日2013年5月対象者町内会加入全世帯配布資料学区広報紙(3つの課題マップ紹介)	
	★ 広報資料配布【部会活動紹介】実施日2013年8月	
	対 象 者 町内会加入全世帯 配布資料 学区広報紙(地区連絡協議会の交通、環境・防犯 部会の活動紹介)	
	・ 現地点検【アンケート結果の課題箇所】実施日 2013年10月参加者 学区連絡協議会の交通部会員	
	❖ 交通問題学習会実施日 2013年12月参加者 学区連絡協議会委員	「学習会」により、一般の方に わかりやすく課題を認識しても らうことができた
		 ●検討会に専門家や行政アドバ
	参加者交通問題検討会委員、道路管理者(市)、区、警察、小学校 ❖ 交通問題検討会(第2回)	イザーが参画することで、検 討内容、対策方針への理解 が得られやすくなった
	実 施 日 2014 年 5 月 参 加 者 交通問題検討会委員	
	交通問題検討会(第3回)【アンケート、通学路整備について】実施日 2014年7月参加者 交通問題検討会委員	
	参加有 文通问题模的云安真 ★ 広報資料配布【交通問題検討会、調査報告】 実施日 2014年7月	
	対象者 町内会加入全世帯 配布資料 交通まちづくりニュース 1	
	◇ 広報資料配布【交通実態調査紹介、アンケート予告】実施日 2014年8月対象者 町内会加入全世帯配布資料 学区広報紙	

現況調査 計画策定 〈Plan〉 ❖ 交通問題検討会(第4回)【交通実態調査結果について】

実施日 2014年9月

参加者交通問題検討会委員、道路管理者(市)、区、小学校

❖ 広報資料配布【交通実態調査結果報告】

実 施 日 2014年10月 対 象 者 町内会加入全世帯 配布資料 交通まちづくりニュース2

❖ 交通問題検討会(第5回)【対策の議論】

実施日 2014年11月

参加者 交通問題検討会委員、道路管理者(市)、警察、小 学校

❖ 広報資料配布【アンケート結果報告】

実 施 日 2014年12月 対 象 者 町内会加入全世帯 配布資料 交通まちづくりニュース3

❖ 交通部会(2014 年度 第1回)【計画案のまとめ方】

実施日 2014年12月 参加者 交通問題検討会委員

❖ 交通問題検討会(第6回)【まちづくり計画案について】

実 施 日 2015年1月 参 加 者 交通問題検討会委員

❖ 広報資料配布【部会(まちづくり計画案の作成)の紹介】

実施日 2015年2月 対象者 町内会加入全世帯配布資料 学区広報紙

❖ 広報資料配布【交通まちづくり計画案】

実 施 日 2015年3月 対 象 者 町内会全世帯(未加入世帯も含む) 配布資料 植田東学区交通まちづくり計画案

❖ 交通まちづくり計画に対する意見募集【意見から社会実験を企画】

実施日 2015年3月~4月 対象者 植田東学区町内会加入世帯

❖ 交通部会(2015 年度 第 1 回)

実施日 2015年5月 参加者 学区連絡協議会交通部会員

❖ 交通部会(2015年度第2回)

実施日 2015年5月

参加者 学区連絡協議会交通部会員、学識者、道路管理者(市)、警察

❖ 交通部会(2015年度 第3回)

実施日2015年7月 参加者学区連絡協議会交通部会員、学識者

❖ 広報資料配布【要望書、社会実験について】

実 施 日 2015年7月 対 象 者 町内会加入全世帯 配布資料 交通まちづくりニュース4

❖ 広報資料配布【社会実験 PR】

実 施 日 2015年8月 対 象 者 町内会加入全世帯 配布資料 学区広報紙 ❖ 交通部会(2015 年度 第 4 回)

実施日2015年9月 参加者学区連絡協議会交通部会員、学識者

❖ 広報資料配布【社会実験 PR】

実 施 日 2015年9月 対 象 者 町内会加入全世帯 配布資料 交通まちづくりニュース5

❖ 広報資料配布【社会実験お知らせ】

実 施 日 2015年9月 対 象 者 社会実験近隣者 配布資料 社会実験のお知らせ

* 社会実験

実 施 日 2015年9月~12月 実験内容 狭さ(2箇所)

❖ 交通部会(2015年度 第5回)

実施日 2015年12月 参加者 学区連絡協議会交通部会員、学識者

交通部会(2015年度 第6回)【社会実験・アンケート結果】実施日 2016年1月

参加者学区連絡協議会交通部会員、学識者

❖ 広報資料配布【社会実験・アンケート結果】

実 施 日 2016年1月 対 象 者 町内会加入全世帯 配布資料 交通まちづくりニュース 6

❖ 広報資料配布【社会実験・アンケート結果】

実 施 日 2016年2月 対 象 者 町内会加入全世帯 配布資料 学区広報紙

❖ 広報資料配布【実施計画】

実施日 2016年2月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 実施計画リーフレット

- ●学区連絡協議会が主体となって社会実験を実施
- ・施設設置箇所付近の住民に は個別に説明を実施し、設置 位置の調整を図った

対策実施 〈Do〉

❖ 交通部会(2016 年度 第1回)

実施日 2016年5月

参加者 学区連絡協議会交通部会員、学識者、道路管理者(国、市)、警察、小学校

❖ 広報資料配布【現地調査、ハンプエ事 PR】

実 施 日 2016年7月 対 象 者 町内会加入全世帯 配布資料 まちづくりニュース7

交通部会(2016 年度 第2回)【進捗状況、その他対策等】

実 施 日 2016年7月 参 加 者 学区連絡協議会交通部会員、小学校

❖ 本設置

運用開始 2016年7月(ハンプ)

❖ 交通部会(2016 年度 第3回)【狭さく整備計画等】

実施日 2016年9月 参加者 学区連絡協議会交通部会員、学識者、道路管理 者(国、市)、警察 行政からの提供情報も踏ま え、地域主導で検討、対策案 を決定

対策実施 <Do>

❖ 広報資料配布【狭さく整備計画】

実施日 2016年9月 対 象 者 町内会加入全世帯 配布資料 まちづくりニュース8

❖ 交通部会(2016年度 第4回)【整備状況、次年度計画】

実 施 日 2016年12月 参 加 者 学区連絡協議会交通部会員、学識者、道路管理 者(国、市)、警察

❖ 広報資料配布【2016、2017 年度計画】

実施日 2017年1月 対 象 者 町内会加入全世帯 配布資料 まちづくりニュース 9

❖ 2017 年度整備計画に対する意見募集

実施日 2017年1月~5月 対 象 者 植田東学区町内会加入世帯

❖ 本設置

運用開始 2017年2月(狭さく)

❖ 広報資料配布【ゾーン 30 の紹介】

実施日 2017年2月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 学区広報紙

交通部会(2017年度 第1回)[2016年度、2017年度整備]

実施日 2017年5月

参加者 学区連絡協議会交通部会員、学識者、道路管理 者(国、市)、警察、小学校

❖ 広報資料配布【整備計画一部修正】

実施日 2017年6月 対 象 者 町内会加入全世帯 配布資料 まちづくりニュース 10

❖ 交通部会(2017 年度 第2回)【事後調査、その他対策等】

実 施 日 2017年7月 参 加 者 学区連絡協議会交通部会員

交通部会(2017 年度 第 3 回)_{【事後調査結果、その他対策等】}

実施日 2017年11月

参加者 学区連絡協議会交通部会員、学識者、道路管理 者(国、市)、小学校

❖ 交通部会(2017年度 第4回)

実施日 2018年1月

参加者 学区連絡協議会交通部会員、学識者、道路管理 者(国、市)、警察

・ 広報資料配布【事後調査結果、アンケート結果、その他対策等】

実施日 2018年1月 対 象 者 町内会加入全世帯 配布資料 まちづくりニュース 11

❖ 広報資料配布【アンケート結果】

実施日 2018年2月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 学区広報紙

❖ 広報資料配布【2018 年度整備】

実施日 2018年3月 対 象 者 町内会加入全世帯 配布資料 まちづくりニュース 12 学区夏まつりで道路狭さくシミ ュレーター体験をしていただく ことで地域に受け入れてもら いやすくした

●設置簡所付近の住民には個 別に説明を実施し、設置位置 の調整を図った

❖ 交通部会(2018 年度 第 1 回)【2018 年度計画】

実施日 2018年5月

参 加 者 学区連絡協議会交通部会員

❖ 広報資料配布【交通安全行動啓発】

実施日 2018年5月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 学区広報紙

交通部会(2018年度 第2回)【違法駐車パトロール、その他取組み】実施日 2018年7月

参 加 者 学区連絡協議会交通部会員

❖ 広報資料配布【違法駐車パトロール、その他取組み】

実施日 2018年7月対象者 町内会加入全世帯配布資料 まちづくりニュース 13

❖ 広報資料配布【違法駐車パトロール】

実施日 2018年8月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 学区広報紙

❖ 交通部会(2018年度 第3回)【事後調査結果、課題等】

実施日 2018年11月

参加者学区連絡協議会交通部会員、学識者、道路管理者(国、市)、警察、小学校

❖ 広報資料配布【事後調査結果】

実 施 日 2018年12月 対 象 者 町内会加入全世帯 配布資料 まちづくりニュース14

❖ 交通部会(2018 年度 第 4 回)【2019 度計画】

実施日 2019年1月 参加者 学区連絡協議会交通部会員

❖ 停止指導線等整備運用開始 2019年3月

❖ 広報資料配布【改善策実施】

実 施 日 2019年3月 対 象 者 町内会加入全世帯 配布資料 まちづくりニュース 15



評価 <Check>

❖ 学区アンケート調査

実施日 2017年8月 参加者 町内会加入全世帯 内 容 高架下道路事後調査

事後調査

実 施 日 2017年8月 実施主体 名古屋市

❖ 交通部会(2018年度 第3回)【事後調査結果、課題等】

実施日 2018年11月

内 容 速度の増加、移設横断歩道の歩行者の視認性





対策改善
<action></action>

・ 狭さく1 か所撤去対策実施 2018 年 12 月

・ 指導線等の整備 対策実施 2019年3月

★ 横断歩道部の改良 対策実施 2019 年 8 月

合意形成における道路管理者からみた特筆事項

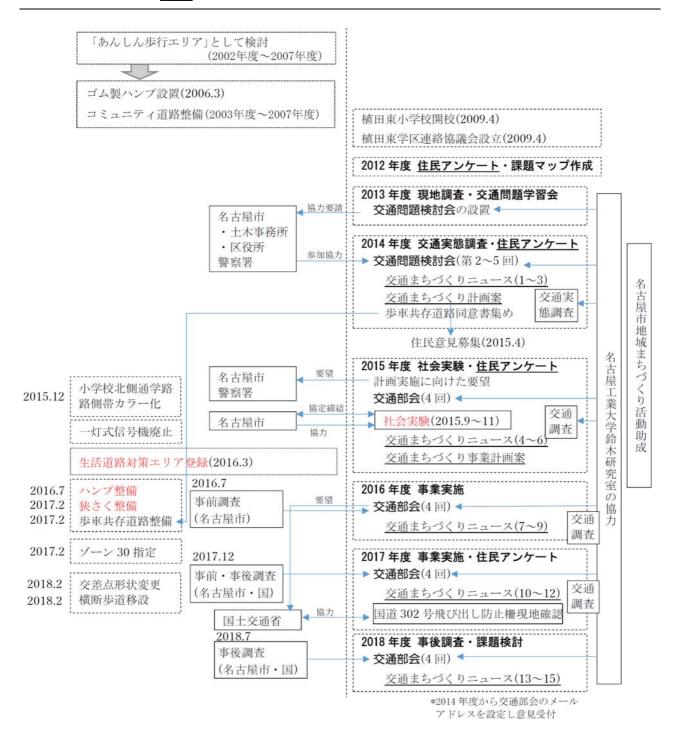
円滑な検討に 結びついた点	学区連絡協議会として、学識者や行政と連携を図りながら地域主導で検討した。学区連絡協議会交通部会が中心となり積極的に広報活動を実施しつつ進め
	<i>t</i> =.
	◆ 社会実験を行ったことにより、住民から具体的な意見を聞くことができ、計画案 の修正を行うことができた。
考えられる 今後の工夫	◆ 生活道路対策エリアを他地区へ展開していくために、当該地区での取り組み内容や効果を積極的に広報していきたい。

その他参考資料

* 対策の実施状況と合意形成

行政

合意形成の概要



出典:学区連絡協議会交通部会資料